

平成 21 年度実施 行政提案型協働事業企画提案書

① 花と緑のふれあい拠点（仮称）花のある景観づくり事業（農水産課）

提案団体 1 明日の金田を創る会

② 防災講演会の開催（防災危機管理課）

提案団体 2 ひらつか防災まちづくりの会

③ 市民活動普及啓発事業（協働推進課）

提案団体 3 特定非営利活動法人ヒューマンライフコンサルティング協会

提案団体 4 特定非営利活動法人みんなでつくる平塚

提案団体 5 国際ひろば“和の輪”

④ 男女共同参画推進紙芝居製作及び啓発事業（人権・男女共同参画課）

提案団体 6 平塚てづくり紙芝居の会

平 塚 市

行政提案型協働事業（モデル事業）企画提案書

(あて先)
平塚市長

団体名 明日の金田を創る会

所在地 平塚市長持465-5

代表者 山村高治 

行政提案型協働事業（モデル事業）について、以下のとおり企画提案します。

1 提案内容

<p>①事業名 (0をつけてください)</p>	<p>1 男女共同参画推進紙芝居製作及び啓発事業 ② 花と緑のふれあい拠点（仮称）花のある景観づくり事業 3 市民活動普及啓発事業 4 防災講演会の開催</p>
<p>②企画提案内容</p>	<p>1 実施目的 「花のある景観」を創出することで、ふれあい拠点への来訪者を四季折々の花で出迎えると共に、地域住民に親しまれる拠点づくりを目指す。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 古川の桜並木魅力アップ事業 古川排水路沿いの桜並木の周辺に花を植栽することで、県立花と緑のふれあいセンター周辺の景観を整えると共に、桜の魅力をさらに引き出す。そのため、桜並木の敷地部分の草刈りを行なうと共に、菜の花などの景観形成に役立つ花(菜の花(春季)、マリーゴールド(秋季)、紫陽花(梅雨季))を植栽する。 ・平成21年度⇒草刈り・土作り、菜の花・紫陽花の一部植栽、日常管理 ・平成22年度⇒草刈り、菜の花・紫陽花等の植栽、日常管理 ※紫陽花の植栽は、ふれあい拠点開設イベントとして、小学校等の参加により地域事業として実施する。 ・平成23年度⇒草刈り、菜の花・マリーゴールドの植栽、日常管理</p> <p>(2) ウェルカムロード花づくり事業 県道平塚・秦野線への新たな進入道路の入口地点の道路残地に整備が予定されている植栽帯に、四季折々の草花を植えることで、ふれあい拠点への来訪者を「花」で出迎えると共に、ふれあい拠点のアピールとイメージアップに繋げる。 ・平成21年度⇒植栽(1回) 日常管理 ・平成22年度⇒植栽(4回) 日常管理 ・平成23年度⇒植栽(4回) 日常管理</p>

<p>③事業計画 スケジュール 人員配置等</p>	<p>平成21年度 ①桜並木⇒4月～9月／ボランティア募集 6月～9月／草刈り(3回)・土作り, 10月／菜の花植栽, 2月／紫陽花一部植栽, 3月／日常管理 ②進入路⇒2月／草花植栽, 3月／日常管理</p> <p>平成22年度 ①桜並木⇒6月～9月／草刈り(2回), 5月／マリーゴールド植栽, 10月／菜の花植栽, 2月／紫陽花植栽, 年間／日常管理 ②進入路⇒5月／草花植栽, 8月／草花植栽, 11月／草花植栽, 2月／草花植栽, 年間／日常管理</p> <p>平成23年度 ①桜並木⇒6月～9月／草刈り, 5月／マリーゴールド植栽, 10月／菜の花植栽 ②進入路⇒5月／草花植栽, 8月／草花植栽, 11月／草花植栽, 2月／草花植栽, 年間／日常管理</p>
<p>④役割分担</p>	<p>(団体の役割)</p> <p>①草刈り及び花の植栽・日常管理等の労働力、技術力の提供 ②会員, ボランティアの募集及び管理</p> <p>(市に期待する役割)</p> <p>①草刈り及び花の植栽・日常管理に係る経費の提供 ②植栽する花の種子の提供 ③ボランティア募集や事業PR等に関する支援業務</p>

2 企画提案団体の概要

①団体名	(フリガナ) アスノカネダヲツクルカイ 明日の金田を創る会		
②所在地・ホームページ	〒254 - 1217 平塚市長持465-5 ホームページアドレス http://		
③連絡担当者及び連絡先	担当者	(役職 会長)	
	電話	(連絡可能な時間帯)	
	FAX	e-mail	
	住所		
④設立年月	平成 20 年 4 月 (法人格取得年月 年 月)		
⑤会員の状況	個人 = 10 人 (うち平塚市民 10 人) 団体 = 団体		
⑥活動内容・活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県市の花と緑のふれあい拠点の中心となる金田地区において、花のある景観づくり等により地域づくりを進めるため、平成20年4月に「明日の金田を創る会」として正式に発足した。 ・ 金田地区において地域づくりを進める新たな事業を企画・提案すると共に、実現化に向けた取り組みを行なう。また、金田地区の歴史や風習などにまつわる遺産を掘り起こし、住民共有の財産とする取り組みを行なう。 ・ 平成20年2月/古川排水路沿いの桜並木を紹介する看板を設置 ・ 平成20年4月/市の事業として行われている「休耕田花づくり事業」により植栽した「レンゲの花畑」を活用する「金田れんげ祭り」を提唱し、同地区に実行委員会が設置され、実現するに至った。(山村会長が実行委員として加わる。) 		
⑦前年度の決算期間	前年度決算期間 年 月 ~ 年 月 (または見込み)		
⑧前年度の決算状況	収入		支出
	会費収入	千円	(※内容を簡潔に記入) 千円
	(内訳)		
	事業収入	千円	千円
	(内訳)		
	助成金・補助金	千円	千円
(内訳)			
その他	千円	千円	
(内訳)			
			千円
合計	円		合計 円

※本会は、現時点では費用が発生していませんので、決算はありません。

3 収支予算書

①収入

区 分	金額 (千円)	内 容
市からの委託料 (必要とする金額)	431千円	平成21年度:134,500円 平成22年度:188,000円 平成23年度:108,000円
	千円	
	千円	
	千円	
収入合計 (A)	431千円	

②支出

区 分	金額 (千円)	内 容
(1)草刈り経費	221千円	平成21年度:700㎡×@45円×3回=94,500円 平成22年度:700㎡×@45円×2回=63,000円 平成23年度:700㎡×@45円×2回=63,000円
(2)花類植栽経費① (残地用植栽)	90千円	平成21年度:100ポット×@100円=10,000円 平成22年度:100ポット×@100円×4回=40,000円 平成23年度:100ポット×@100円×4回=40,000円
(3)花類植栽経費② (桜並木用植栽)	100千円	[紫陽花植栽費用] 平成21年度:20本×@1,000円=20,000円 平成22年度:80本×@1,000円=80,000円
(4)土作り経費 (肥料代)	20千円	平成21年度:4袋×@2,500円=10,000円 平成22年度:2袋×@2,500円=5,000円 平成23年度:2袋×@2,500円=5,000円
	千円	
	千円	
	千円	
支出合計 (B)	431千円	


注) 収入合計(A)と支出合計(B)は同額としてください。

注) 提出された企画提案書及び添付された資料は、事業選考のため協働事業審査会で使用するほか、個人情報以外については、平塚市情報公開条例に基づき情報公開する場合があります。提出された企画提案書等は返却いたしません。

受付月日 2008年10月3日

行政提案型協働事業（モデル事業）企画提案書

(あて先)
平塚市長

団体名 ひらつか防災まちづくりの会
 所在地 平塚市見附台5-7-804
 代表者 篠原 憲一 

行政提案型協働事業（モデル事業）について、以下のとおり企画提案します。

1 提案内容

<p>① 事業名 (〇をつけてください)</p>	<p>1 男女共同参画推進紙芝居製作及び啓発事業 2 花と緑のふれあい拠点（仮称）花のある景観づくり事業 3 市民活動普及啓発事業 ④ 防災講演会の開催</p>
<p>② 企画提案内容</p>	<p>「支え合う地域づくり」をテーマとした地域参加型防災フォーラムを提案する。 ■「わが地域；防災の取り組み」～共に支え合う地域を目指して～ << 形式；基調講演＋パネルディスカッション >> ※ 基調講演 講師には、「支え合う地域づくり」の具体的な先進事例や有効事例を発表できるようにする。 ※ パネルディスカッション パネリストには市内数地域の方(自治会；または地域団体)に自分の地域の防災の取り組みを紹介してもらう。 ※ 効果／狙い ・近隣地域には親近感もあると思われるので、聴衆の参加が見込める。 ・「こんな取り組みなら自分の自治会でもできる」という意識啓発とともに「支え合う地域への取り組み」の契機とする。 ※ 地域は各々独自に防災の取り組みを行っている。それらを紹介することで他自治会の取り組みの参考とする。 ■講演会までの期間の有効活用 ⇒「支え合う地域づくり」へ講演会までは時間的余裕がかなりあるのでその期間を有効に活用する。行政との協力で、市民活動団体としても地域と友好的関係を結び、「おらが地域；支え合うまちづくり」（要援護者対策；防災と福祉）の意識を少しでも高め、自治会加入率をも少しでも高めるような手立てを共に考えたい。</p> <p>方 法 案</p> <p>①自治会連合会や社会福祉協議会の会合に参加し、協力を依頼する。 ②自治会対象アンケートの実施(選択・記述式にて255自治会へ) ・地域の様子を把握(フォーラム参加地域・モデル地域の模索) ・意識調査(自分の住む町の環境を知る) ③パネリストとなる地域選出 公募手上げ方式、選出(行政の情報、アンケートの結果等から選考) ④地域防災懇談会 …… テーマ「支え合う地域づくり」 ⑤市民活動団体による防災お手伝い出前 公民館等で… 防災実験・被災体験・講和・紙芝居・クイズ・救急法講習</p>

③事業計画
〔スケジュール
人員配置等〕

H20年度

11月～3月 危機管理課との協議（3～5名）

- ◆自治会連絡協議会・社会福祉協議会の会合に参加し、主旨を説明、協力をお願いする。（2～3名）
 - 協働型事業地域参加型フォーラムを行いたい旨
 - 地域からパネリストを選出させて頂きたいこと
 - アンケート実施の依頼
- ◆アンケート内容の作成（3～5名）

H21年度

4月～6月 アンケート発送・回収・集計（5～10名）

- 7月
- ・パネリスト候補地区選考選出（3～5名）
 - ・基調講演講師選考選出
 - ・地域懇談会開催の地域を公募または選出
 - ・地域と協議の上、防災の出前も考えたい。

8月～11月（3～6名）

- ◆地域懇談会「支え合う地域づくり」（パネリストとなる団体優先）
地域／行政／市民活動団体の互いの現状認識。
⇒ 何ができるか、何が必要かを洗い出す
⇒ 各地域の取り組み ⇒ （フォーラム発表へ）
- ◆地域への防災お手伝いの出前（パネリストとなる団体優先）

H22年1月 防災講演会「わが地域；防災の取り組み（仮称）」
～共に支え合う地域を目指して～

（団体の役割）

- 1、地域・行政との橋渡し；コーディネート
- 2、講演会の講師・パネリストの選出
- 3、地域懇談会の開催
- 4、防災お手伝い出前
- 5、アンケート作成

④役割分担

（市に期待する役割）

- ◆大きくは行政の信用と経験をお借りすること。
 - ◆具体的には広報、情報／場の提供、職員派遣、講演会に向けての準備にかかる経費面の支援。
- 1、情報提供（自治会の様子、社協の様子、行政の状況）
 - 2、パネリストとなる地域選出（情報・広報・依頼文）
 - 3、地域懇談会への出席
 - 4、講演会までの準備にかかる経費面の支援

2 企画提案団体の概要

①団体名	(フリガナ) ヒラツカボウサイマチヅクリノカイ	
	ひらつか防災まちづくりの会	
②所在地・ホームページ	〒254 -0045 平塚市見附台5-7-804	
	ホームページアドレス http://www.geocities.jp/hiratsukabousaimachidukuri/	
③連絡担当者及び連絡先	担当者 篠原 憲一 (役職 代表)	
	電話 (連絡可能な時間帯)	
	FAX e-mail	
	住所	
④設立年月	2003年 8月 (法人格取得年月 年 月)	
⑤会員の状況	個人= 34人 (うち平塚市民 21人) 団体= 0 団体	
⑥活動内容・活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災まち歩き(こども防災まち探検4地区、自治会とのまち歩きマップ作成3自治会4回) ○ 子供向けの地震火山スクールの開催 2005年より夏休みに開催(平塚、相模湾、大磯丘陵の成り立ちや大地の恵みの理解を通じて地震や火山の怖さと恵みを理解してもらい講座を開催) ○ 防災かるた作成ならびにかるた大会の開催(全市二回、地域三回)、防災カルタ作成きつと作成(内閣府防災教育チャレンジプラン助成、松下電器産業NPO活動支援プログラム助成) ○ 耐震補強モデル事業の実施(代表友人宅を耐震補強、延べ100回以上の見学会実施) ○ 防災講演会の開催80回。防災講演会講師派遣30回。 ○ 外国籍市民向け防災マニュアル作成(6ヶ国語) ○ 崇善小学校父の会・夏の防災キャンプへの協力【毎年】 ○ 防災視察受け入れ；複数回。 ○ 阪神淡路語り部を招いての5日間11か所の連続講演会開催。 ○ 養護学校生徒との防災かるた音楽コラボレーション ○ 地域放送番組作成(三回) ○ 花水青少年指導員 夏/冬の防災共同事業(2006年度~夏・冬) 防災実験、救急法、オリジナル防災寸劇を中学演劇部が演じる等。 ○ 防災講演会の実施、金目地域主催フォーラムへの後援協力 	
⑦前年度の決算期間	前年度決算期間= 19年4月 ~ 20年 3月 (または見込み)	
⑧前年度の決算状況	収入	支出
	会費収入 58 千円 (内訳 29人) 事業収入 161 千円 (内訳 講師謝礼他) 助成金・補助金 630 千円 (内訳 神奈川県委託事業) その他 117 千円 (内訳 賛助金 80、その他37)	(※内容を簡潔に記入) ・展示 14千円 ・事務諸費 161千円 ・防災かるた関連 32千円 ・相模湾アカデミー 761千円 ・ 千円
	合計 961円	合計 968円

3 収支予算書

①収入

区 分	金額 (千円)	内 容
市からの委託料 (必要とする金額)	70千円	防災講演会開催費用
(オプション)	(56千円)	(アンケート発送・事務諸経費)
	千円	
	千円	
収入合計 (A)	70千円 (126千円)	

②支出

区 分	金額 (千円)	内 容
講師謝礼	50千円	講師謝礼3万円、交通費2万
パネラー謝礼	20千円	5千円×4名
(アンケート発送)	(41千円)	(郵送 80*255*2)
(事務所経費)	(15千円)	(アンケート集計印刷諸費等)
	千円	
支出合計 (B)	70千円 (126千円)	

注) 収入合計(A)と支出合計(B)は同額としてください。

注) 提出された企画提案書及び添付された資料は、事業選考のため協働事業審査会で使用するほか、個人情報以外については、平塚市情報公開条例に基づき情報公開する場合があります。提出された企画提案書等は返却いたしません。

企画提案 3

様式第1号

受付月日 2008年9月30日

行政提案型協働事業（モデル事業）企画提案書

(あて先)
平塚市長

団体名 特定非営利活動法人のーまーいんコンパニオン協会

所在地 神奈川県平塚市宮松町10番2号

代表者 今井章博



行政提案型協働事業（モデル事業）について、以下のとおり企画提案します。

1 提案内容

① 事業名 (〇をつけてください)	1 男女共同参画推進紙芝居製作及び啓発事業 2 花と緑のふれあい拠点（仮称）花のある景観づくり事業 ③ 市民活動普及啓発事業 4 防災講演会の開催
② 企画提案内容	別紙

<p>③事業計画 〔スケジュール 人員配置等〕</p>	<p>別紙</p>
	<p>(団体の役割)</p> <p>別紙</p>
<p>④役割分担</p>	<p>(市に期待する役割)</p> <p>別紙</p>

2 企画提案団体の概要

①団体名	(フリガナ) ヒロキチシイキヤクドウキョウ 特定非営利活動法人ヒューマンライツ・ソシアル・イノベーション協会	
②所在地・ホームページ	〒254-0036 神奈川県平塚市宮松町10番2号 ホームページアドレス http://www.npohlea.org/	
③連絡担当者及び連絡先	担当者 (役職) _____ 電話 (連絡可能な時間帯) _____ FAX _____ e-mail _____ 住所 _____	
④設立年月	H20年 7月 (法人格取得年月 H20年 7月)	
⑤会員の状況	個人= 14人 (うち平塚市民 9人) 団体= _____ 団体	
⑥活動内容・活動実績	H19 平塚見附市 駅前大祭 11月11日入祭 H20 11-11に祭利 平塚見附市	
⑦前年度の決算期間	前年度決算期間= なし 年 月 ~ 年 月 (または見込み)	
⑧前年度の決算状況	収入	支出
	会費収入 (内訳) _____)	千円 _____ (※内容を簡潔に記入)
	事業収入 (内訳) _____)	千円 _____
	助成金・補助金 (内訳) _____)	千円 _____
	その他 (内訳) _____)	千円 _____
	合計	0円

3 収支予算書

①収入

区 分	金額 (千円)	内 容
市からの委託料 (必要とする金額)	100千円	講師料
消耗品費	10千円	消耗品費
	千円	
	千円	
収入合計 (A)	110千円	

②支出

区 分	金額 (千円)	内 容
講師料	100千円	講師料
消耗品費	10千円	消耗品費
	千円	
	千円	
	千円	
	千円	
	千円	
支出合計 (B)	110千円	

注) 収入合計(A)と支出合計(B)は同額としてください。

注) 提出された企画提案書及び添付された資料は、事業選考のため協働事業審査会で使用するほか、個人情報以外については、平塚市情報公開条例に基づき情報公開する場合があります。提出された企画提案書等は返却いたしません。

行政提案型協働事業（モデル事業）企画提案書

● 企画提案内容

行政は、今まで以上にきめ細かい対応や地域の特色を活かしたまちづくりを提案したいし、市民は自らの地域課題や社会的問題に取り組む市民力や地域力の意識が高まっている。

しかし現状は、行政側としてはやれる範囲内でしっかり市民にアピールして立ち上がる市民を把握できてはいるが、その先の筋道が無い。ボランティア意識が高まった市民を上手に誘導出来ない。

市民団体側は、「いかにも自分たちは良い事をしているのだ」かの様な立場でマニアックになっており、意識が高まったばかりのボランティア初心者には敷居が高い。

そこで、NPO 本来の位置づけでもあります、行政と市民のクッション役を特定非営利活動法人ヒューマンライフコンサルティング協会が受け持とうと考えております。

①まず積極的かつ効果的な案は、市内各中学校に出向いて「現代の日本人が忘れていた奉仕の心・市民活動の紹介」について短い講演をし、実際に活動に参加するまでをハンズオンで促す。その後、どの様な活動に参加したいかアンケートを取り、登録・所属をしないでも活動出来る団体から紹介して行き、段々とふるいにかけて行く。最終的には市民活動意識が高まった中学生を輩出する課外授業の一環として平塚市が活動している事の世間認知度を高める目的。

②幅広い世代に告知する案ですが、実際に活動するには世代の壁を乗り越えなくては行けない為、完全なる告知だけで終わらせる案

事前に、広報平塚やコミュニティ誌に告知して市民活動意識の高い参加者を募り、フォーラムなどに参加させる。

そして、その場にパネリストとして2~3組の事前に参加可能団体として審査した団体を招きその団体の初心者向け活動とコアな活動を発表して貰う。後は、参加するかどうかは市民に委ねる。

当団体と致しましては、どちらも対応可能です。

● 事業計画

①企画開始時に平塚市内15校に講演を開くかどうかを聴き承認校に対して月に1~2回程度特定非営利活動法人ヒューマンライフコンサルティング協会が事前に市職員と打ち合わせした内容の講演を受け持つ。講演後生徒にアンケートをして頂いてどの様な活動をしてみたいか聴きマッチング可能な場合は各団体の体験活動をして頂く。

②事前にフォーラム内容を市内に告知し中央公民館にてパネリストを呼んで講演する。参加パネリストは事前に当団体と市とで協議選択する。

● 役割分担

①（団体の役割）

- ①講演内容原案（中学生が理解し興味を持つ内容）を作り市と協議し許可が出た内容を講演する。
- ②講演後のアンケートを作る。
- ③事前に対応可能な団体を選択し、アンケート内容からマッチングする。

（市に期待する役割）

- ①事前に市内中学校に告知する。
- ②アンケートを印刷する。
- ③今後も継続的に上記事業を続け途中で止めない。

②（団体の役割）

- ①事前に議題を制作する。
- ②参加団体にオファーする。

（市に期待する役割）

- ①事前に市民に告知する。
- ②会場を手配する。

上記以外に役割が発生した場合は誠意をもって協議の上解決する。

企画提案 4

様式第1号

受付月日 2008年 9月 30日

行政提案型協働事業（モデル事業）企画提案書

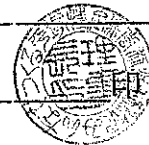
(あて先)
平塚市長

団体名 特定非営利法人みんなでつくる平塚

所在地 平塚市公所 450 番地の 2

ログハウス DO 内

代表者 端山慶子



行政提案型協働事業（モデル事業）について、以下のとおり企画提案します

1 提案内容

<p>① 事業名 (Oをつけてください)</p>	<p>1 男女共同参画推進紙芝居製作及び啓発事業 2 花と緑のふれあい拠点（仮称）花のある景観づくり事業 ③ 市民活動普及啓発事業 4 防災講演会の開催</p>
<p>② 企画提案内容</p>	<p>対談形式による各種市民活動団体の紹介 『市民活動は面白い～私が市民活動をしている訳～』</p> <p>①平塚市内で市民活動をしている団体の方1名（講師）とみんなで作る平塚の会員1名が対談形式で、活動の内容や何故その活動に参加したか、活動をしている中での楽しさや苦労等を話す。その様子を、これから市民活動に参加したいと思っている市民の方たちが見る。 いろいろな分野の市民活動団体を10団体前後選び、話し手（講師）となってもらふ。聞き手は、みんなで作る平塚の会員が交代でつとめる。</p> <p>②全団体との対談が終わったら話し手全員と市民との交流会を開催する。</p> <p>③ 対談内容を、みんなで作る平塚のホームページに掲載する。 ④ 対談内容を、小冊子にする。</p>

<p>③事業計画 スケジュール 人員配置等</p>	<p>2008.11.～2009.3. 話し手（講師）を依頼する団体を選び、参加の交渉</p> <p>2009.4～5. この事業の広報活動 5月下旬に1回 6,7,8,9、月に各月2～3回の対談を行う</p> <p>10月 市民と講師と主催者との交流会を開く</p> <p>2010.3月までに、小冊子完成</p> <p>各対談終了後みんなで作る平塚のホームページへ掲載する</p>
<p>④役割分担</p>	<p>(団体の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対談において、市民活動の面白さが伝わるように引き出す ・各回の記録、小冊子作成 ・ホームページへの掲載 ・市民活動に参加したいという市民を増やす <p>(市に期待する役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場の確保 ・広報（チラシ作製・配布、広報ひらつかへの掲載、s c n平塚市の時間での取り上げ等） ・各回の記録および小冊子作成への助言

2 企画提案団体の概要

①	(フリガナ) トクテイヒエイリカツドウホウジン ミンナデツクルヒラツカ	
団体名	特定非営利活動法人みんなでつくる平塚	
②所在地・ホームページ	〒 254-0906 平塚市公所 450 番地の 2 ログハウス DO 内 ホームページアドレス http://www.geocities.jp/min_hira/	
③連絡担当者及び連絡先	担当者 (役職)	電話 (連絡可能な時間帯)
	FAX	e-mail
	住所	
④ 設立年月	1999 年 7 月	(法人格取得年月 2002 年 9 月)
⑤会員の状況	個人 = 45 人 (うち平塚市民 39 人) 団体 = 0 団体	
⑥活動内容・活動実績	2001.5 「平塚駅にエレベーターを」の署名活動開始 2002.4 署名 10,000 筆を平塚市と平塚駅に提出 2002.7 「一万人署名ありがとうフォーラム」開催 2002.11～2005.1.仙台、京都、大阪、多摩、茅ヶ崎、藤沢の NPO センター視察見学 2004.11.フォーラム開催 「市民活動はおもしろい！」 講師 せんだい・みやぎ NPO センター代表理事 加藤哲夫氏 2005.5.フォーラム開催 「ぼけと向き合う」 講師 スウェーデン福祉研究所 グスタフ・ストランデル氏 2006.2 駅前点検と車椅子での試乗体験 (バスで平塚駅から市民病院まで) 2006.6.フォーラム開催 「平塚駅前広場を考える」-私たちが考えた駅前プラン発表～ 2006.10～2007.3 北口バス乗り場のバリアフリーを要望する署名活動 2007.3.フォーラム開催 「段差ゼロ」フォーラム その後署名を市に提出	
⑦前年度の決算期間	前年度決算期間 = 2007 年 9 月 ～ 2008 年 8 月 (または見込み)	
⑧前年度の決算状況	収入	支出
	会費収入 94,000 円 (内訳 年会費 2000×45 前年度分年会費 2000×2) 事業収入 0 円 (内訳) 助成金・補助金 0 円 (内訳) その他 124,350 円 (内訳 前年度繰越金 預金利息 67 円)	(※内容を簡潔に記入) ・管理運営費 75,839 円 ・バリアフリーを考える事業費 3,300 円 ・交流事業費 10,770 円 ・広報活動費 4,580 円 ・次年度繰越金 123,928
	合 計 218,417 円	合 計 218,417 円

3 収支予算書

①収入

区 分	金額 (千円)	内 容
市からの委託料 (必要とする金額)	110 千円	
	千円	
	千円	
	千円	
収入合計 (A)	110 千円	

②支出

区 分	金額 (千円)	内 容
講師謝礼	50 千円	5000 円×10 名
交流会費用	10 千円	
小冊子作成費	30 千円	
チラシ等広報活動費	5 千円	
会員交通費	15 千円	500 円×3 人×10 回
	千円	
	千円	
支出合計 (B)	110 千円	

注) 収入合計(A)と支出合計(B)は同額としてください。

注) 提出された企画提案書及び添付された資料は、事業選考のため協働事業審査会で使用するほか、個人情報以外については、平塚市情報公開条例に基づき情報公開する場合があります。提出された企画提案書等は返却いたしません。

企画提案 5

様式第1号


受付月日 2008年10月3日

行政提案型協働事業（モデル事業）企画提案書

平塚市長 大蔵律子 様

団体名 国際ひろば“和の輪”

所在地 平塚市八重咲町19-23-601

代表者 中野恵子 

行政提案型協働事業（モデル事業）について、以下のとおり企画提案します。

1 提案内容

① 事業名 (0をつけてください)	1 男女共同参画推進紙芝居製作及び啓発事業 2 花と緑のふれあい拠点（仮称）花のある景観づくり事業 ③ 市民活動普及啓発事業 4 防災講演会の開催
② 企画提案内容	外国籍市民（4～5人）をパネリストとして、その立場から見た平塚を語ってもらう。また、そのボランティア活動の発表・紹介をする。 目的 ① 多くの市民に外国籍の人たちの活動や考え方などを知ってもらう。 ② より多くの外国籍の人たちに、いろいろな形でボランティア活動に関わってもらいたい。

<p>③事業計画 〔スケジュール 人員配置等〕</p>	<p>平成21年(2009年) 10月18日(日)、25日(日) 11月8日(日)、15日(日) のうちの1日。120分~150分</p> <p>当日までに打ち合わせ会を2回おこなう。</p> <p>人員配置 司会、受付、写真撮影、録音、タイムキーパー</p>
<p>④役割分担</p>	<p>(団体の役割)</p> <p>パネリストの選出、依頼、当日の進行</p> <p>(市に期待する役割)</p> <p>パネリストへの謝礼、宣伝、広報(多言語で) 会場の確保(と整備)</p>

2 企画提案団体の概要

①団体名	(フリガナ) こくさい ひろば わ の わ 国際ひろば “和の輪”	
②所在地・ホームページ	〒254-0811 平塚市八重咲町19-23-601 ホームページアドレス http://	
③連絡担当者及び連絡先	担当者 (役職)) 電話 (連絡可能な時間帯)) FAX 同 e-mail 住所 同	
④設立年月	2003年5月25日 (法人格取得年月 年 月)	
⑤会員の状況	個人= 27 人 (うち平塚市民22人) 団体= 団体	
⑥活動内容・活動実績	<p>「1」座談会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1年に1~4回開催して、一般からの参加も募った。 ● 平塚市および周辺在住の外国籍の人や、外国とかかわってきた日本人(原則として1回の座談会に1人)の話を聞いて、その後参加者といっしょに話し合う場を持ち、意見交換をした。 ● 外国籍の人からは、その人たちから見た平塚での暮らし、出身国との違い、出身国での暮らしなどを語ってもらい、日本人からは外国で暮らした体験などを語ってもらった。 ● これまでに話をした人たちの出身国は、日本(4名)、韓国(1名)、中国(2名)、カンボジア(1名)、シンガポール(1名)、ロシア(1名)、カナダ(1名)、アメリカ(1名)、アルゼンチン(1名)、ボリビア(1名)、ブラジル(1名)、ペルー(1名)。 <p>「2」もちよりパーティーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会員の親睦のための会合。 	
⑦前年度の決算期間	前年度決算期間=2007年1月~12月	
⑧前年度の決算状況	(収 入)	(支 出)
	会費収入 0円 (内訳) 事業収入) (内訳) 助成金・補助金) (内訳) その他) (内訳 繰越金 13,811円)	イベント運営費 4,866円 通信費 1,920円 備品など 2,400円 次年度繰越金 4,625円 合計 13,811円

3 収支予算書

①収入

区 分	金額 (円)	内 容
市からの委託料 (必要とする金額)	55,000円	
収入合計 (A)	55,000円	

②支出

区 分	金額 (円)	内 容
	50,000円	パネリストへの謝礼 (1万 x 5人)
	5,000円	資料代、ほか
支出合計 (B)	55,000円	

注) 収入合計(A)と支出合計(B)は同額としてください。

注) 提出された企画提案書及び添付された資料は、事業選考のため協働事業審査会で使用するほか、個人情報以外については、平塚市情報公開条例に基づき情報公開する場合があります。提出された企画提案書等は返却いたしません。

企画提案 6

様式第1号

受付月日 2008年10月3日

行政提案型協働事業（モデル事業）企画提案書

（あて先）
平塚市長

団体名 平塚てづくり紙芝居の会

所在地 平塚市老松町1-10-608

代表者 鈴木 恵子



行政提案型協働事業（モデル事業）について、以下のとおり企画提案します。

1 提案内容

<p>① 事業名 (Oをつけてください)</p>	<p>① 男女共同参画推進紙芝居製作及び啓発事業 2 花と緑のふれあい拠点（仮称）花のある景観づくり事業 3 市民活動普及啓発事業 4 防災講演会の開催</p>
<p>② 企画提案内容</p>	<p>5歳児（こども）を対象に“ジェンダーフリー”をテーマにした、てづくり紙芝居を制作・上演する。 ポイントは2点と考えます。 ジェンダーによる「こうであらねばならない」「こうするべき」からの自由制作・上演側もこどもも双方にとっても楽しい</p> <p>人間はひとりひとりが個性豊かな存在であり、それぞれの意思により性別を越えて自由に人生を選択できることを絵と脚本とおはなしにより伝える。紙芝居は脚本が命であるので、男女共同参画活動やこどもの教育に携わる方々のご意見を聞きつつ、効果的なストーリーにしたい</p> <p>上から下に伝える（教訓的）のでなく、双方が“楽しい！”と思えるような作品にする必要がある。5歳児ぐらいになると制作側の意図（押し付けかどうか）に敏感に反応するので、楽しくないと効果はない。その点行政側が制作するのでなく、市民が制作することにより、もともとこどもと平等の立場（市民）なので、こどもの目線で制作・上演しやすい。</p> <p>『こうだったらいいね、素敵だね』という紙芝居を作りたい 現在、構想としてジェンダーがあった時代を生きた親と現在のこどもとの楽しい会話形式の紙芝居を考えている。イメージとして長野ヒデ子さんの絵本「とうさんかあさん」の親子のように時代を超えてともだちになっちゃうような、ほのぼのしたもの。</p>

<p>③事業計画 「スケジュール 人員配置等」</p>	<p>紙芝居は演劇なので、制作し上演することで完成します。</p> <p>①ストーリーを作る（3ヶ月）6名 題材、登場人物のデザイン、お話の展開</p> <p>②台本を書く（絵コンテ付きの脚本）（3ヶ月）6名 構成、効果的な演出</p> <p>③絵を描く（3ヶ月）6名 紙芝居独特の構図、キャラクターの表情や動き</p> <p>④上演・（3ヶ月）6名 表現 *この上演は絵や脚本を固めるための試演です</p>
<p>④役割分担</p>	<p>（団体の役割）</p> <p>市民（子ども）の立場にたって作品を制作・上演する。 てづくり紙芝居づくりの経験にもとづいて効果的な作品を制作する。 （神奈川県紙芝居文化推進協議会を利用） 上演に際して、誰もが読みやすいものを作る。 てづくり紙芝居の作成の手法や文学（演劇）的表現、上演の際の演出については責任を持ちたい。</p> <hr/> <p>（市に期待する役割）</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の5歳児を知るための機会の提供 ・ストーリーを煮つめていく段階で男女共同参画活動やこどもの教育に携わる方々のご意見を聞く機会 <p>② ③</p> <p>作品の効果について確認</p> <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報 ・ 上演場所の確保

2 企画提案団体の概要

①団体名	(フリガナ) ヒラサヅツクリカミシバノカイ			
	平塚てづくり紙芝居の会			
②所在地・ホームページ	〒254-0033 平塚市老松町1-10-608 プリメーラ平塚			
	ホームページアドレス http:// なし			
③連絡担当者及び連絡先	担当者	(役職)		
	電話	(連絡可能な時間帯)		
	FAX	e-mail		
	住所			
④設立年月	20 年 6 月	(法人格取得年月 年 月)		
⑤会員の状況	個人= 6 人 (うち平塚市民 6 人) 団体= 団体			
⑥活動内容・活動実績	<p>会としての実績はまだないが、会員個人では20年前から様々なてづくり紙芝居を創作し、市の事業やさまざまな施設等で実演した経験を持つ。</p> <p>市販のものにはない平塚の郷土資料(紙芝居や本など)を創作して伝えることを目的に活動している。神奈川県紙芝居文化推進協議会会員3名</p> <p>代表作「おばけえのきとねこのおとり」 「D52403ごうのかつやく」 「赤いベレーの長岡さん」(パソコン影絵)</p>			
⑦前年度の決算期間	前年度決算期間= なし 年 月 ~ 年 月 (または見込み)			
⑧前年度の決算状況	収 入		支 出	
			(※内容を簡潔に記入)	
	会費収入	千円	・	千円
	(内訳)			
	事業収入	千円	・	千円
	(内訳)			
	助成金・補助金	千円	・	千円
(内訳)				
その他	千円	・	千円	
(内訳)				
			・	千円
合 計	0 円	合 計	0 円	

3 収支予算書

①収入

区 分	金額 (千円)	内 容
市からの委託料 (必要とする金額)	100千円	
	千円	
	千円	
	千円	
収入合計 (A)	100千円	

②支出

区 分	金額 (千円)	内 容
	10千円	画用紙、絵の具など材料費
	80千円	製作費
	10千円	上演のための経費
	千円	
	千円	
	千円	
	千円	
支出合計 (B)	100千円	

注) 収入合計(A)と支出合計(B)は同額としてください。

注) 提出された企画提案書及び添付された資料は、事業選考のため協働事業審査会で使用するほか、個人情報以外については、平塚市情報公開条例に基づき情報公開する場合があります。提出された企画提案書等は返却いたしません。